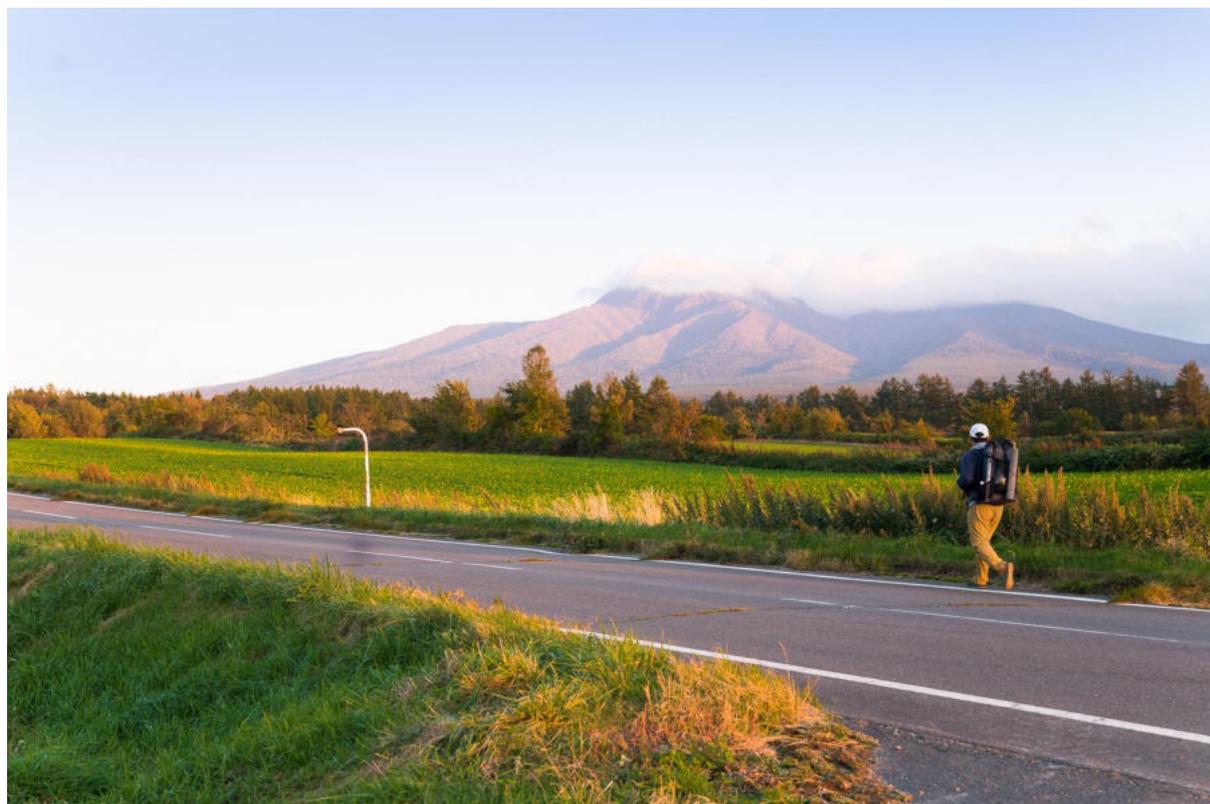


一般社団法人トレイルブレイズハイキング研究所

令和4年度(第三期)

事業報告書



作成：2023/5/31

## 令和4年(2022年)度 実施事業一覧

01. 令和4年度 阿寒摩周・釧路湿原・知床ロングトレイル推進業務(北海道)
02. 令和4年度 東北自然歩道奥入瀬溪流歩道他地域参画促進等業務(青森県)
03. 令和4年度 ロングトレイルの維持管理・運営システム構築に向けた提言書作成業務(東京都)
04. ふくしま浜街道トレイル「地域が連携して 実施する誘客・周遊を促すための仕掛けづくり」(福島県)
05. あまのみトレイルマップブック作成・印刷業務(長野県)
06. 九州自然歩道 宮崎県ルート台風被害調査・管理台帳素案作成等業務(宮崎県)
07. 九州自然歩道 宮崎県ルート台風被害調査・管理台帳素案作成等業務(宮崎県)
08. 九州自然歩道 宮崎県ルート台風被害調査・管理台帳素案作成等業務(宮崎県)
09. 『写真家・福本玲央が歩いて感じ、伝える宮崎の歴史・暮らし・文化 ～「九州自然歩道宮崎ルート」の魅力～』  
撮影計画及びオンライン写真展開催支援等業務(宮崎県)
10. 令和4年度 広田小学校 6年生卒業制作 みちのく潮風トレイル広田半島ルートマップ制作 授業業務(岩手県)
11. 週刊トラベルジャーナル ロングトレイル特集企画原稿執筆(東京都)
12. アルークワーク仙台 アルークワーク体験型教室(宮城県)
13. 2022第9回MONミーティング「ロングトレイル、歩く旅の魅力に触れる2日間」(宮城県)
14. みちのく潮風トレイル等を活用した自然体験プログラム推進事業「トレイン&トレイル」(岩手県)
15. 磐梯朝日国立公園広域周遊ボルケーノトレイル造成 コーチング業務(福島県)
16. 大田区立出雲中学校 SDGs講演会 登壇(東京都)



事業名／業務名	令和4年度 阿寒摩周・釧路湿原・知床ロングトレイル推進業務
事業実施期間	令和4年7月29日～令和5年3月24日
事業種別	(1) 歩き旅に関する調査・研究 (2) トレイルの企画・敷設・運営に関するコンサルティング (3) 教育・研修・セミナー等の企画・運営 (4) CSR支援 (5) 地図・書籍・Webコンテンツ等の制作 (6) トレイル関連商品のコンサルティング (7) その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業
受託先	北海道地方環境事務所 釧路自然環境事務所
事業予算	17,956,497円
一部委託先	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支部研究員: 中村美幸</li> <li>・支部研究員: 鈴木栄治</li> <li>・合同会社マトイクリエイティブ: パンフレット等制作</li> <li>・株式会社ボックスグラフ(泉山郎土): 動画撮影、制作</li> <li>・写真家 草本利枝: 写真撮影</li> <li>・株式会社オイコス: ドローン撮影</li> </ul>
事業概要	<p>阿寒摩周国立公園におけるトレイルネットワークの形成を柱として、知床国立公園、釧路湿原国立公園の3公園をトレイルで結ぶことにより、世界水準のロングトレイルルート形成を目指すことを目的として実施した。</p> <p>また、3公園の関係自治体やトレイル推進団体等との合意形成を図り、それぞれの地域での取組をサポートしつつ、3公園を結ぶロングトレイルルートのブランド化を図るとともに、阿寒摩周国立公園を中心としたトレイルネットワーク構想(釧路空港・女満別空港、中標津空港の3空港をトレイルやサイクリング、カヌーなど非動力で繋ぐ)の実現を目的として実施した。</p>
実施内容	<p>1) 業務計画・打ち合わせ (ア) 業務の進め方について打ち合わせを実施(計12回)</p> <p>2) ロングトレイル想定ルート調査、基礎情報収集、運営体制検討 (ア) ロングトレイル想定ルートの調査 ① 机上調査及び調査計画の策定 ② 現地調査の実施(8/27～8/31、9/14～9/26、11/4、11/11) (イ) 暫定ルート案作成 (ウ) 地域関係者からの情報収集 ① ヒアリングの実施(計19回) ② トレイル交流会の開催(計2回) (エ) 快適な利用のための情報整理 ① データブック作成に必要な情報の収集 ② ルートの安全情報の整理 (オ) トレイルネットワークの運営体制検討 ① 運営体制構築のための情報収集</p> <p>3) 広域ブランディング (ア) 広域ブランディングを推進する際の必要事項検討 (イ) トレイル憲章(案)策定 (ウ) トレイル名称(案)策定</p>



事業名／業務名	令和4年度 東北自然歩道奥入瀬溪流歩道他地域参画促進等業務
事業実施期間	令和4年8月1日～令和5年2月17日
事業種別	(1) 歩き旅に関する調査・研究 (2) トレイルの企画・敷設・運営に関するコンサルティング (3) 教育・研修・セミナー等の企画・運営 (4) CSR支援 (5) 地図・書籍・Webコンテンツ等の制作 (6) トレイル関連商品のコンサルティング (7) その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業
受託先	環境省 東北地方環境事務所 十和田八幡平国立公園管理事務所
事業予算	5,961,670円
一部委託先	モディ株式会社
事業概要	満喫プロジェクトの取り組みの一環として、東北地方環境事務所と関係する地方公共団体は、東北自然歩道の一部区間のルートを見直すことで、交通の拠点から国立公園の核心地区へ歩いて至る動線を構築し、東北自然歩道の利用促進を図るとともに、十和田八幡平国立公園の新しい利用形態を提示することを検討している。本業務は、東北自然歩道の一部区間のルート見直し計画を取りまとめるにあたり、従前の調査で判明した課題点への対応検討、利用施設に関する詳細調査を実施するとともに、地域住民説明会を実施することで地域の参画を促進し、ルートの維持やサービスの向上につなげることを目的として実施した。
実施内容	1) 業務計画書の作成 2) 要ルート変更箇所調査 (ア) トレイルの状況把握 ① 現地調査(1回目:9/4～9/8) ② リルートが必要と思われる箇所の確認 (イ) リルート候補の検討 (ウ) 現地調査(2回目:10/5～10/14) (エ) 路線図(案)の検討 ① リルートの提案(計11箇所:18.8km) ② 要整備区間の整理(計4区間:7.9km) 3) 協力意向調査 (ア) 対象施設へのヒアリング ① 宿泊施設(計10件) ② 食料品店等(計10件) ③ その他トイレの提供等協力意向を有する者(計7者) 4) ガイド連携調査 (ア) 対象事業者へのヒアリング ① ガイド事業者(計6社) 5) 連絡会における情報共有(計3回:八戸市10/25、五戸町11/28、十和田市2/8) 6) 標識配置計画図(案)の作成 (ア) 標識配置計画箇所の検討 (イ) 既存標識(東北自然歩道、奥州街道、その他)の確認 (ウ) 道路区分(車道、歩道、舗装、未舗装)の整理

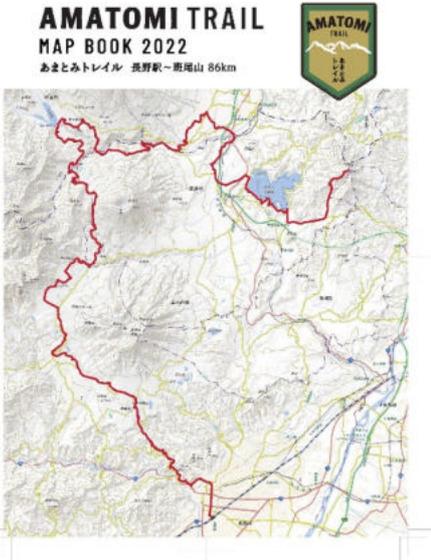
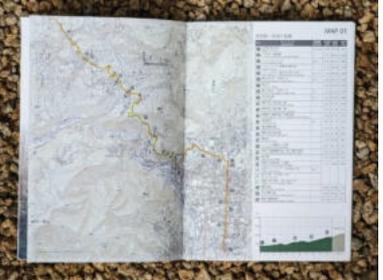


事業名／業務名	令和4年度 ロングトレイルの維持管理・運営システム構築に向けた提言書作成業務
事業実施期間	令和5年8月5日～令和5年3月17日
事業種別	(1) 歩き旅に関する調査・研究 (2) トレイルの企画・敷設・運営に関するコンサルティング (3) 教育・研修・セミナー等の企画・運営 (4) CSR支援 (5) 地図・書籍・Webコンテンツ等の制作 (6) トレイル関連商品のコンサルティング (7) その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業
受託先	環境省国立公園課
事業予算	2,898,071円
一部委託先	合同会社マトイクリエイティブ:配信
事業概要	<p>ロングトレイル(長距離自然歩道)は、昭和 45年に設定が開始され、現在その総延長は約 28,000kmに及んでいる。また、東北地方沿岸部においては、「東日本大震災からの復興の基本方針(平成23年7月29日。東日本大震災復興対策本部)」に基づき「みちのく潮風トレイル」の整備を進め、令和元年に総延長 1,025km の全線開通に至ったところである。一方で、長距離自然歩道の歴史は50年を超え、一部の路線においては施設の老朽化や維持管理の担い手不足等による路線の維持、運営面での課題に直面している。</p> <p>そのような状況の中、令和2年の新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、身近な自然の価値に帯する認識及び健康志向が高まるなど、人々の価値観やライフスタイルに変化が起きつつある。ロングトレイルは、利用者にとって心身の健康にも通じるものであると同時に、地域社会にとっても地域循環共生圏を構成する重要な一要素になり得るものとなっている。以上のことから、我が国の長大なトレイルにおいて快適かつ安全なトレイルの利用に必要なサービスの提供を持続的に行う必要がある。</p> <p>本業務においては、近年の社会情勢を踏まえつつ次の 50年を見据えて、令和3年に構想発案から 100年を迎えたアパラチアトレイル等の先進事例も参考としながら、地域社会におけるロングトレイルの望ましい位置付け及び構想、整備、維持管理、運営、利用のあり方等を検討し、提言書として取りまとめを行うことを目的として実施した。</p>
実施内容	<p>1) 有識者検討会の開催 (ア) 第1回検討会 (9/12: 新宿御苑インフォメーションセンター) (イ) 第2回検討会 (10/7～10/9: 宮城県・岩手県のトレイル上および関係施設) (ウ) 第3回検討会 (1/20: ふれあい会議室大手町)</p> <p>2) 考え方の作成 (ア) 「ロングトレイルの維持管理・運営システム構築の考え方」を作成</p> <p>3) 考え方の公表及び公開懇談会の開催 (2/19: 池袋 自由学園明日館講堂)</p> <p>4) 業務の打ち合わせ (ア) 業務の進め方について打ち合わせを実施 (計8回)</p> <p>5) 業務報告書の作成</p>

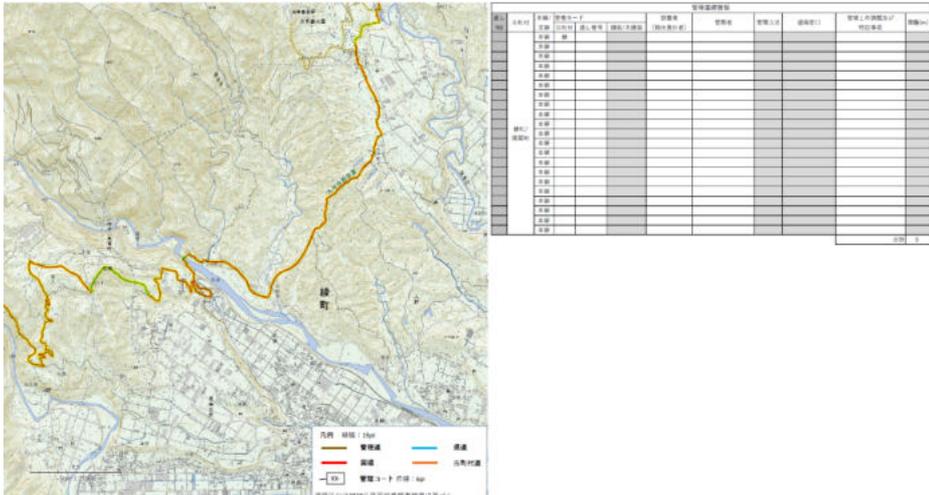


事業名／業務名	ふくしま浜街道トレイル 「地域が連携して 実施する誘客・周遊を促すための仕掛けづくり」
事業実施期間	令和4年8月4日～令和5年3月31日
事業種別	(1) 歩き旅に関する調査・研究 (2) トレイルの企画・敷設・運営に関するコンサルティング (3) 教育・研修・セミナー等の企画・運営 (4) CSR支援 (5) 地図・書籍・Webコンテンツ等の制作 (6) トレイル関連商品のコンサルティング (7) その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業
受託先	観光庁 令和4年度環境に配慮した持続可能な周遊観光促進事業/ NPO法人みちのくトレイルクラブ
事業予算	2,726,692円
一部委託先	・支部研究員:中島悠二 ・合同会社マトイクリエイティブ
事業概要	福島県沿岸部の浜通り地域に全長約220kmの「ふくしま浜街道トレイル」を敷設し、歩いて旅をする人(ハイカー)が歩き旅を通してその土地のありのままの姿を五感で感じ、地域の住民の交流による関係人口の拡大に寄与するとともに、新型コロナウイルスにより打撃を受けた地域経済の振興を目的とする。 「ふくしま浜街道トレイル(令和4年度事業内で決定)」の令和5年度の全線開通(予定)に向けて、実施及び補助を行った。
実施内容	1) ルートの確定 2) 現地調査の実施及び報告書まとめ(1名×10日) 3) トレイルロゴ及び道標デザインの監修/道標の設置に関するアドバイス(1名×3日) 4) モデルコース概要マップ制作及び写真撮影等の制作アドバイス/ポスター制作監修(1名×7日) 5) ハイキングイベントの実施、ガイド及び運営等支援(3名×2日) 6) シンポジウムの支援及び登壇等



事業名/業務名	あまとみトレイルマップブック作成・印刷業務
事業実施期間	令和4年8月1日～令和4年9月26日
事業種別	(1) 歩き旅に関する調査・研究 (2) トレイルの企画・敷設・運営に関するコンサルティング (3) 教育・研修・セミナー等の企画・運営 (4) CSR支援 (5) 地図・書籍・Webコンテンツ等の制作 (6) トレイル関連商品のコンサルティング (7) その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業
受託先	あまとみトレイルクラブ
事業予算	340,560円
一部委託先	・支部研究員:地現葉子
事業概要	昨年度開通した、中部北陸自然歩道を活用し、信越トレイルと接続する「あまとみトレイル」について、利用促進のためのマップブック作成業務
実施内容	1) 一昨年度作成したデータシート等を活用し、マップブックを作成 2) 見やすさを考えた新型の採用 3) 印刷 4) 販促支援等
写真等	  

事業名／業務名	九州自然歩道 宮崎県ルート台風被害調査・管理台帳素案作成等業務
事業実施期間	令和4年9月29日～令和5年2月28日
事業種別	(1) 歩き旅に関する調査・研究 (2) トレイルの企画・敷設・運営に関するコンサルティング (3) 教育・研修・セミナー等の企画・運営 (4) CSR支援 (5) 地図・書籍・Webコンテンツ等の制作 (6) トレイル関連商品のコンサルティング (7) その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業
受託先	宮崎県環境森林部自然環境課
事業予算	352,000円
一部委託先	NPO法人ひむか感動体験ワールド、九州自然歩道みやざきハイキングクラブ
事業概要	九州自然歩道、関係市町である木城町、川南町、都農町、日向市、美郷町の5市町約122km 対象とし、令和4年台風14号による歩道上の被害調査の実施。同5市町を訪問、令和2年度に行われた県による九州自然歩道の調査、令和3年度に行われた当団体含む協働による九州自然歩道の実踏調査で得た課題情報と合わせ、整備またはルート再設定といった課題解決方法を協議、持続可能な運営体制のための管理台帳素案の作成をした。また、実踏調査 MAP、管理台帳素案といった一連の成果物の、関係自治体や他団体による利活用(ウォーキングイベント開催等)を促すことを目的とした。
実施内容	1) 木城町、川南町、都農町、日向市、美郷町の5市町 約122km の被害調査 2) 木城町、川南町、都農町、日向市、美郷町 5 関係市町への訪問ヒアリング 3) 主に課題個所の把握のため、各担当者同行の上で該当区間巡視 4) 持続可能な整備体制と運営体制のための管理台帳素案の作成
写真等	

事業名／業務名	九州自然歩道 宮崎県ルート台風被害調査・管理台帳素案作成等業務
事業実施期間	令和4年9月29日～令和5年2月28日
事業種別	(1) 歩き旅に関する調査・研究 (2) トレイルの企画・敷設・運営に関するコンサルティング (3) 教育・研修・セミナー等の企画・運営 (4) CSR支援 (5) 地図・書籍・Webコンテンツ等の制作 (6) トレイル関連商品のコンサルティング (7) その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業
受託先	宮崎県補助金／NPO法人ひむか感動体験ワールド
事業予算	35,200円
一部委託先	—
事業概要	九州自然歩道、関係市町である高原町、都農町、小林市、綾町、国富町、西都市の6市町約119kmを対象とし、令和4年台風14号による歩道上の被害調査の実施。同6市町を訪問、令和2年度に行われた県による九州自然歩道の調査、令和3年度に行われた当団体含む協働による九州自然歩道の実地調査で得た課題情報と合わせ、整備またはルート再設定といった課題解決方法を協議、持続可能な運営体制のための管理台帳素案の作成をした。また、実地調査MAP、管理台帳素案といった一連の成果物の、関係自治体や他団体による利活用(ウォーキングイベント開催等)を促すことを目的とした。
実施内容	1) 高原町、都農町、小林市、綾町、国富町、西都市の6市町約119km被害調査のためのアドバイス 2) 高原町、都農町、小林市、綾町、国富町、西都市 6関係市町への訪問ヒアリングのためのアドバイス 3) 主に課題個所の把握のため、各担当者同行の上で該当区間巡視のためのアドバイス 4) 持続可能な整備体制と運営体制のための管理台帳素案の作成
写真等	



事業名／業務名	『写真家・福本玲央が歩いて感じ、伝える宮崎の歴史・くらし・文化 ～「九州自然歩道宮崎ルート」の魅力～』撮影計画及びオンライン写真展開催支援等業務
事業実施期間	令和4年9月29日～令和5年2月28日
事業種別	(1) 歩き旅に関する調査・研究 (2) トレイルの企画・敷設・運営に関するコンサルティング (3) 教育・研修・セミナー等の企画・運営 (4) CSR支援 (5) 地図・書籍・Webコンテンツ等の制作 (6) トレイル関連商品のコンサルティング (7) その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業
受託先	令和4年度 ひなたの文化活動推進事業(公財)宮崎芸術文化協会／九州自然歩道みやざきハイキングクラブ
事業予算	5,000円
一部委託先	九州自然歩道みやざきハイキングクラブ
事業概要	九州自然歩道は国土地理院の地形図にも掲載され、各所に道標も残る。九州のみならず、全国的にその名を知る人は多く、昨今のアウトドア、ロングトレイルブームで興味関心を持つ人は多い。また、過去に多くが歩いていた記憶を宿す地域住民、道標を日常的に目にして存在は知るが詳しくは知らない住民など様々おり、40年の歴史はPRにおいて既に有意な状況を用意してくれている。本事業では、宮崎の自然と共に育まれてきた豊かな歴史・文化を体感できる九州自然歩道の宮崎ルートに改めて着目し、発信することで、今後歩く旅人を宮崎の中山間部に招き入れ、宮崎の文化を体験しながら歩く旅人と地域との偶発的な出会いと、自然な交流による持続可能な地域の賑わいの創出を目的とした。
実施内容	国内外におけるアウトドア撮影経験が豊富な写真家・福本玲央氏に九州自然歩道宮崎ルートを歩いていただき、宮崎の大半を占める山間部に生きる人々の暮らし、歴史・文化、風景を、住民の交流とあわせ体感していただき、“歩く”という根源的な行為の持つ魅力と共に撮影、作品化してもらった。作品の発表と共に福本氏が歩いて・見て・感じた宮崎の中山間地域の文化についてオンライントークイベントを開催し、お話いただいた。  1) 写真家・福本玲央氏による九州自然歩道宮崎ルートのハイキング及び撮影 2) 九州自然歩道を歩いて旅した体験を語るオンライン写真展及びトークイベントの開催  撮影された写真は今後の九州自然歩道宮崎ルートのPRに活用する(著作権は福本氏に帰属、使用権を買取)



事業名／業務名	令和4年度 広田小学校 6年生卒業制作 みちのく潮風トレイル広田半島ルートマップ制作 授業業務
事業実施期間	令和4年7月8日、3月2日・3日
事業種別	(1) 歩き旅に関する調査・研究 (2) トレイルの企画・敷設・運営に関するコンサルティング (3) 教育・研修・セミナー等の企画・運営 (4) CSR支援 (5) 地図・書籍・Webコンテンツ等の制作 (6) トレイル関連商品のコンサルティング (7) その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業
受託先	一般社団法人陸前高田市観光物産協会
事業予算	—
一部委託先	—
事業概要・実施内容	広田小学校6年生の卒業制作として、みちのく潮風トレイルの地域情報を自分達で調査・掲載するマップ制作のために、ハイカー目線でのお話し「長く歩く旅 ハイキングとトレイル」というタイトルでオンラインによる授業を行った。また令和5年3月には、この取り組みが開始して以来、コロナ感染症対策の関係で直接伺うことができずにいたが、初めて小学校を訪問し、受け渡し式に参加。バックパックの中身などを披露する講演を行った。
写真等	

事業名／業務名	週刊トラベルジャーナル ロングトレイル特集企画原稿執筆
事業実施期間	令和4年8月1日
事業種別	(1) 歩き旅に関する調査・研究 (2) トレイルの企画・敷設・運営に関するコンサルティング (3) 教育・研修・セミナー等の企画・運営 (4) CSR支援 (5) 地図・書籍・Webコンテンツ等の制作 (6) トレイル関連商品のコンサルティング (7) その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業
受託先	株式会社トラベルジャーナル
事業予算	30,000円
一部委託先	—
事業概要・実施内容	週刊トラベルジャーナル誌8月1日号「ロングトレイル～地域をゆつくりと歩こう」と題する特集企画で、「海外の歩く旅に学ぶ」をテーマにした原稿を執筆した。特集では、近年、日本各地で整備が進み注目を集めるロングトレイルの現状なども紹介された。現在、北海道から沖縄までの山岳遊歩道や自然歩道などをほぼ一筆書きで結ぶジャパントレイル構想が進んでいる。全長約1万kmに及ぶロングトレイル。同構想を提唱する日本ロングトレイル協会によると、健康や自然志向の高まりのなかで、全国各地の整備道に国内外のハイカーが訪れているという。登山道やハイキング道、自然散策路、里山のあぜ道、ときには車道などを歩きながら、その地域の自然や歴史、文化に触れる中で、環境保全や地域観光の活性化に寄与する考えである。協会に加盟する約30団体の既存トレイルなどを利用し、現在、第1次ルート(5000km)が発表されている。今後4～5年かけて第2次ルート以降の約1万kmが策定される予定である。ロングトレイルは欧米で根付いたレジャー形態であり、外国人観光客への訴求も視野に入っている。昨年4月に開催されたシンポジウムでは、観光庁や旅行業界からもアフターコロナに向けてロングトレイルへの期待感が示された。
写真等	 

事業名／業務名	アルーワーク仙台 アルーワーク体験型教室
事業実施期間	令和4年10月29日～令和4年10月30日
事業種別	(1) 歩き旅に関する調査・研究 (2) トレイルの企画・敷設・運営に関するコンサルティング (3) 教育・研修・セミナー等の企画・運営 (4) CSR支援 (5) 地図・書籍・Webコンテンツ等の制作 (6) トレイル関連商品のコンサルティング (7) その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業
受託先	仙台市補助金/一般社団法人 ONE TOHOKU HUB
事業予算	269,500円
一部委託先	—
事業概要・実施内容	<p>仙台の街や自然の魅力を味わいながら、歩く楽しさを体感する教室</p> <p>1) Sendai Long Hiking ～市内をロングハイキングしよう～ (ア) イベント講師</p> <p>① 「作並・新川 WALK」コース 日時: 10月29日(土) 9:00～12:00 参加数: 10名 行程: JR仙山線「作並駅」→作並温泉 時間: 3時間</p> <p>② 「打倒! 東西線」コース 日時: 10月30日(日) 10:00～14:30 参加数: 10名 行程: 地下鉄東西線「荒井駅」→地下鉄東西線「八木山動物公園駅」 時間: 4時間30分</p>
写真等	  

事業名／業務名	2022第9回MONミーティング「ロングトレイル、歩く旅の魅力に触れる2日間」
事業実施期間	令和4年11月26日～令和4年11月27日
事業種別	(1) 歩き旅に関する調査・研究 (2) トレイルの企画・敷設・運営に関するコンサルティング (3) 教育・研修・セミナー等の企画・運営 (4) CSR支援 (5) 地図・書籍・Webコンテンツ等の制作 (6) トレイル関連商品のコンサルティング (7) その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業
受託先	みやぎ野外教育ネットワーク
事業予算	15,000円
一部委託先	—
事業概要・実施内容	「ロングトレイル」と「歩く文化」を発信するみちのく潮風トレイル名取トレイルセンターを会場に、宮城の自然体験活動の実践者に加え、ロングトレイルの実践者、研究者等が一同に会し、普及、安全、環境保全、教育などの側面から、情報交換をした。 (ア) オリエンテーション「長く歩く旅ということ」 (イ) キーノート「PCTを歩いて感じたトレイル文化」 (ウ) 野営場で各自テント設営/野外炊事 (エ) ワークショップ ① ロングトレイルと安全「街と野外のハザマの救急法」 ② ロングトレイルと教育「トレイルを歩いて学ぶということ」 ③ ロングトレイル とLNT「自然の活用と保全の融合をめざして」 ④ ロングトレイル と災害「減災と防災を考える」 ⑤ トークセッション「何ができる？ どう活かす？ 宮城のロングトレイルの未来」
写真等	

事業名／業務名	みちのく潮風トレイル等を活用した自然体験プログラム推進事業「トレイン&トレイル」
事業実施期間	令和4年12月3日～令和4年12月4日
事業種別	(1) 歩き旅に関する調査・研究 (2) トレイルの企画・敷設・運営に関するコンサルティング (3) 教育・研修・セミナー等の企画・運営 (4) CSR支援 (5) 地図・書籍・Webコンテンツ等の制作 (6) トレイル関連商品のコンサルティング (7) その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業
受託先	環境省 令和3年度(補正予算)国立・国定公園の利用拠点の魅力創造による地域復興推進事業/一般社団法人浄土日和
事業予算	38,940円
一部委託先	—
事業概要・実施内容	<p>(目標) 国立公園利用や旅行の新たなニーズに対応した自然体験プログラムを地域が一体となって開発し、アフターコロナの旅行客回復のタイミングを逃さずに的確な反転攻勢ができる体制を整備する。この事業により、国立公園利用者の増加やその長期滞在、周遊が見込まれ、コロナ禍で衰退していた公園内事業者の体力回復が図られるとともに、これまでに無かった地域の事業者等の新たな連携を構築することによって、今後も起こりうる社会変化にも適応可能な事業体制を整え、地域全体の危機管理や活性化に寄与していく。</p> <p>(概要)</p> <p>ア) 利便性に優れたツールの企画を開発  ①三陸鉄道の駅(久慈市～大船渡市)を基点に、みちのく潮風トレイルルートとのマッチングについて調査を実施  ※企画開発にあたっては、(一社)浄土日和により必要な実踏調査を実施</p> <p>イ) 地元住民に向けた啓発イベント実施と周知  (イベントは企画したコースを実際に体験) *講師として参加</p> <p>ウ) ファムトリップ実施(旅行業者の商品企画造成支援)</p>
写真等	 

事業名/業務名	磐梯朝日国立公園広域周遊ボルケーノトレイル造成 コーチング業務
事業実施期間	令和4年12月7日
事業種別	(1) 歩き旅に関する調査・研究 (2) トレイルの企画・敷設・運営に関するコンサルティング (3) 教育・研修・セミナー等の企画・運営 (4) CSR支援 (5) 地図・書籍・Webコンテンツ等の制作 (6) トレイル関連商品のコンサルティング (7) その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業
受託先	観光庁補助金/磐梯朝日広域周遊促進協議会
事業予算	15,800円
一部委託先	—
事業概要・ 実施内容	磐梯朝日国立公園広域周遊ボルケーノトレイル事業者に対してトレイルデータブックとトレイルマップの作り方をオンライン会議で伝授  会議出席者: 庄交コーポレーション 後藤氏/歩く東北研究所 後藤氏/丘と山製作所 一瀬氏/本事業コーチ 相澤氏/事務局KCS 池田

事業名／業務名	大田区立出雲中学校 SDGs講演会 登壇
事業実施期間	令和5年3月13日
事業種別	(1) 歩き旅に関する調査・研究 (2) トレイルの企画・敷設・運営に関するコンサルティング (3) 教育・研修・セミナー等の企画・運営 (4) CSR支援 (5) 地図・書籍・Webコンテンツ等の制作 (6) トレイル関連商品のコンサルティング (7) その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業
受託先	大田区立出雲中学校
事業予算	20,000円
一部委託先	—
事業概要・ 実施内容	目的) 次世代を担う中学生がSDGsについて意識しながら行動する重要性を学ぶ機会とする。持続可能な開発目標にある「世界中の人々が豊かに暮らし続ける社会」に対する取り組みを学ぶ。 SDGs該当項目 気候変動に具体的な対策を／陸の豊かさを守ろう
写真等	